

自修館中等教育学校の総合的な学習の時間支援について



概要説明



曳船体験航海



体験喫食

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、9月29日（火）、中高一貫校である自修館中等教育学校の1年から5年生26名（他教諭1名）に対し、総合的な学習の一環として、「海上自衛隊横須賀総監部研修」を支援した。

横須賀総監部での同校の研修は初めてであり、生徒は終始興味津々、概況説明後の曳船体験航海では目を輝かせながら横須賀基地の湾内を見学していた。その後、程よく空腹になったところで自衛隊のおいしい昼食を笑顔でいただき舌鼓をうっていた。午後からの研修では、救難母艦のシミュレータ体験を行い、興奮して時間オーバーしてしまう場面もあるなど、最後は名残惜しそうに基地を後にした。生徒の中には「将来自衛官になりたい」という者も数名おり大変有意義な研修となった。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、将来一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、総合的な学習の時間を支援したい」としている。

予備自衛官補への補備教育の支援

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、10月1日（木）、平成26年度入隊の予備自衛官補（看護技能）に対し、基礎訓練の補備教育を支援した。

当該予備自補は、二宮町在住で看護師をしており、看護技能の予備自補としてこれまで1度召集訓練に参加しているが、基本教練及び射撃姿勢等に不安を抱えており、第2回目の訓練に向け本人の希望もあり、平塚地域事務所が補備教育を支援したものである。指導は、陸上自衛官の広報官2名が担当し、模擬小銃を使った執銃時の基本教練と射撃訓練を行った。11月の訓練まで定期的に実施する予定である。

平塚地域事務所は、「今後も同様の要望があれば、先輩自衛官として出来る事は積極的に支援し、自衛官としての資質の向上に寄与したい」としている。

海上自衛隊公募海曹及び自衛官候補生入隊式への家族支援



入隊式後にご家族と記念撮影する望月公募海曹



入隊式の様子

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、10月1日（木）、海上自衛隊横須賀教育隊で行われた「第122期公募海曹7名」及び「第10期自衛官候補生64名」の入隊式に参加する家族を支援した。

今回、平塚地域事務所が担当した「公募海曹1名」、「自衛官候補生3名」が入隊し、そのうち2家族が式に参列した。

着隊から1週間で人が変わったように凛々しくなった我が子を見て泣き出す家族もあり、入隊を決意した隊員も、「これからの厳しい訓練に耐え、家族やお世話になった事務所の方々の期待に応えたい」と改めて誓っていた。

平塚地域事務所は、「今後も平和を仕事にし、人々の役に立ちたいという多くの志願者を支援し、家族や国民の期待に応える若者たちを入隊させた」としている。



分隊宣誓式の様子



宣誓の様子